

とっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地

TEL (0857) 38-9500 FAX (0857) 38-9577

<http://www.totirengonet.or.jp>

印刷所 日ノ丸印刷株式会社



「春に備える」米子市岡成
農業・農村フォトコンテスト2020 入選作品

目

- 新年のご挨拶 鳥取県土地改良事業団体連合会 会長 榎本 武利…………… 2
- 鳥取県農林水産部農地・水保全課 課長 森田 智彦…………… 3
- 新年にあたって 全国土地改良事業団体連合会 会長 二階 俊博…………… 4
- 新年のご挨拶 都道府県水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子 …… 5
- 都道府県水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎 雅夫 …… 6
- 令和3年度農林水産予算概算決定の概要について …… 7

[シリーズ]

次

- 元気女子発見隊 Real Voice…………… 8
- 編集後記 …… 8



新年のご挨拶

鳥取県土地改良事業団体連合会

会長 榎本 武利



年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられ、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の運営並びに農業農村整備事業の推進については、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で、多くのイベント・行事が中止となりました。本会においても毎年開催しております「美しく豊かなむらづくり大会」を感染防止の観点から中止とさせて頂きました。早期に新型コロナウイルスの影響がなくなるのを願うばかりです。

さて、令和3年度予算は、競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備の計画的な推進を掲げられ、総額で6,300億円となっております。これもひとえに会員の皆様方の強い要請活動の結果であります。現在、コロナ禍ではありますが、皆様と共に国や県への要請活動をしっかり行って参りたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

また、令和2年10月には、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が施行されました。推進計画に基づく防災工事等の実施者に対し、技術的指導、助言等の援助をするため、来年度、県において、ため池サポートセンターが設置される予定です。

さらに、昨年から本会の新しい取り組みとしてスマート農業やICT（情報通信技術）などの新技術を取り入れた水管理の効率化の調査、研究を開始しています。本年も新しい技術事例など積極的に皆様に情報提供していきたいと考えております。

本会は、今後も農業農村整備事業を推進し、農業・農村の大切さの周知や各土地改良区が抱えている課題等について、会員の皆様と連携した様々な活動を行って参りたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いするとともに、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念し、新年の挨拶といたします。

会員の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます

鳥取県土地改良事業団体連合会 役職員一同



新年のご挨拶

鳥取県農林水産部農地・水保全課
課長 森田 智彦



新年明けましておめでとうございます。

皆様には日頃から農業農村整備事業の推進にあたり、多大なるご協力とご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により1年を通して皆様方の生活や事業にも様々な影響があったことと思われます。県においても、「鳥取県農業生産1千億円達成プラン」の目標を着実に達成するため各種事業展開を進めてきたところではありますが、新型コロナウイルス感染症による農産物需要の減少等、農業における社会的影響を考慮し、目標年次を3年後ろ倒し（令和9年⇒12年）する見直しが行われたところです。今後は、ウィズコロナとアフターコロナの両方を見据えた対応が必要とされますが、新型コロナウイルス感染症が早期に収束・根絶されることを願うところでもあります。

さて、国の令和3年度の農業農村整備事業予算は前年度比12億円増の4,445億円、令和2年度補正予算を合わせると6,300億円が確保されました。これは、土地改良関係団体の皆様方が農業農村整備事業の必要性を国に要請して頂いた結果であり、厚くお礼申し上げます。

この度の予算には、気候変動等の影響による気象災害の激甚化・頻発化への取組の加速化・深化を図るため、令和7年度までの5ヶ年に概ね15兆円程度を目途に重点的・集中的に対策を講じるとする「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」の予算が含まれており、農業農村整備事業分野では、流域治水対策（農業水利施設整備、水田の貯留機能向上）、農業水利施設等の老朽化対策、防災重点農業用ため池の防災減災対策が掲げられています。特に、ため池については一昨年の「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」に加え、昨年10月には「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が施行され、今後10年間で集中的かつ計画的に防災工事等を推進することとされており、県としましても、ため池の定期点検の支援等を行う「ため池サポートセンター（仮称）」の設置や対策工事等を進めていくこととしています。

また、現行の土地改良長期計画の計画期間が令和2年度までとなっていることから、「新たな土地改良長期計画」を令和3年3月までに定めるよう国において作業が行われています。新たな土地改良長期計画では、3つの政策課題（生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化）に対応した政策目標を定め重点的に取り組むよう、とりまとめが進められており、県でもこの計画目標に向け、担い手への農地の集積・集約化等による農業競争力強化や高収益作物への転換等による産地収益力の強化、老朽化が進む農業水利施設の保全管理、ため池対策や流域治水の取組等を進めていきます。

最後に、今後も産地力を強化し農業所得を高めていけるよう、また、農村地域の国土強靱化を図るため、農業農村整備事業を通して本県の農業振興に全力で取り組んで参りますので、皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会

会長 二階俊博



令和3年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。昨年、新型コロナウイルスが世界各国で感染拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求められる等、これまで経験したことのない一年となりました。

また、7月の豪雨や台風による暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要であり、日頃から土地改良に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の先頭に立って頂いていることについて、心から敬意を表します。

全国で32カ所のため池が決壊した「平成30年7月豪雨」を契機として、全国のため池の関係者の方々から、ため池の防災工事を推進するための財政的・技術的な支援を求める声が高まり、昨年6月、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立致しました。この議員立法の成立には、多くの国会議員の皆様のご尽力を頂きましたが、中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、法案の検討段階から中心となってご活躍頂きました。土地改良関係者が一丸となって、全力で対応した結果であったと思います。心から厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することができました。

令和3年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、4,445億円を確保することができました。さらに、令和2年度の補正予算を含めると6,300億円となります。また、防災・減災の為に国土強靱化対策が延長され、新たな5ヶ年加速化対策として、15兆円が予算化されることとなりました。

皆様の活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

また、近年、自然災害が大規模化、多発化する傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いています。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年3月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体で農業、農村を次の世代に繋いでいくこととされました。

私達土地改良担当者としては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様方にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

都道府県水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子



新年明けましておめでとうございます。鳥取県の皆様には、去年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3ヶ年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靱化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靱化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

去年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことができました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟（二階俊博会長）として「農業農村の振興を先導する土地改良」（全国事例集）の発刊できたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

鳥取県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします



新年のご挨拶



都道府県水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

明けましておめでとうございます。鳥取県の土地改良関係の皆様にご挨拶を謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力頂いておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動に甚大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、昨年は全国的に新型コロナウイルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われましたが、影響や被害等に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、速やかな回復や復旧に向け私も最大限の努力をして参る所存です。

さて、昨年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受けて11月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、皆様方ご関心の、防災・減災、国土強靱化対策については、現行の3ヶ年緊急対策に続き令和7年度までの5ヶ年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靱化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池や農業水利施設等の老朽化対策、予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆様方のご尽力を頂きながら、総額6,300億円（当初4,445億円、補正：国土強靱化加速化対策1,155億円、TPP対策700億円）を確保することができました。1月に開会される通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

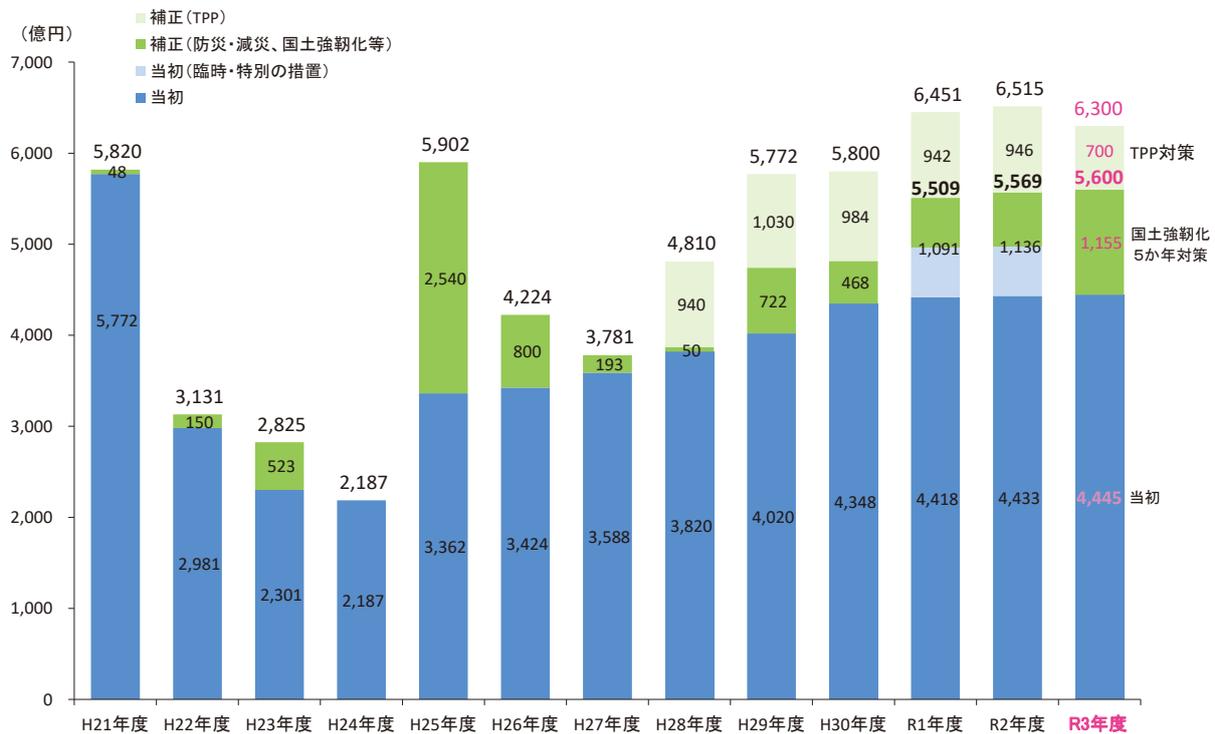
また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せて生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤金日子議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と予算の安定的確保に向け、皆様方からご指導を頂きながら努力して参ります。

結びに、鳥取県の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和3年度農林水産予算概算決定の概要について

令和3年度の農業農村整事業関係予算は、①当初予算4,445億円（農業農村整備事業＜公共＞、農地耕作条件改善事業、農業水路等長寿命化・防災減災事業、農山漁村地域整備交付金＜公共＞、農山漁村振興交付金）②防災・減災、国土強靱化の推進1,155億円（農業水利施設、ため池等の対策＜公共＞）③TPP対策700億円で、6,300億円概算決定となりました。

農業農村整備事業関係予算の推移



主な事業（農林水産省 令和3年度農林水産関係予算の重点事項より抜粋）

【競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備の計画的な推進】

1 農業農村整備事業＜公共＞【3年次当初】3,333億円（2年次当初 3,264億円）

- 農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るため、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、**防災重点農業用ため池対策の強化、農業用ダムの洪水調節機能強化や田んぼダムの取り組み拡大等を実施・支援**
- 農業地域のインフラの持続性の確保と農村の活性化を図るため、**集落排水施設や農道の再編、強靱化、高度化等の定住条件の整備を支援**
- 農業用ダムの洪水調節機能の強化や市街地・集落を含む農村地域の排水対策を図るため、農業水利施設の整備を実施・支援
- 水田の貯留機能の向上を図るため、田んぼダム等に取り組む地域で実施される農地の整備を実施・支援
- 激甚化・頻発化する豪雨災害等に対応して老朽化対策や豪雨・地震対策を進めるため、施設の集約・再編を含む農業水利施設等の補修・更新を実施・支援
- 防災重点農業用ため池の劣化状況評価、地震・豪雨耐性評価、統廃合を含む防災工事を支援

元気女子発見隊 Real Voice

元気に活躍されている
女性職員を順次ご紹介！



今回は、北条砂丘土地改良区塚本枝里子さん（とっとり水土里の女性会メンバー）をご紹介します。



北条砂丘土地改良区の塚本枝里子です。こちらで働き始めて、6年目になりました。

北条砂丘は、鳥取県では鳥取砂丘に続く2番目に大きい砂丘です。昭和27年に天神川にせきを築き、川の水を強力なポンプでくみ上げ砂丘地に水を撒くという、日本で初めての畑地かんがい土地改良事業が国の理解のもと始められたそうです。

天神川からくみ上げる水の量は、1秒間に900リットル（お風呂5杯分くらい）にもなるとのこと。昔は、浜井戸から炎天下の中、人の力で水をくみ上げた過酷な労働から『嫁ゴロシ』なんて物騒な名前がついていたそうです。おそろしいですね・・・

今では、散水期間中は時間が来れば、番号順に水が自動で出るようになり、ここ数年の猛暑を考えると、特に、砂丘地農業には必要不可欠な施設ではないかと思えます。

改良区で働きだしてからありがたいことに、組合員さんから、畑でとれたいろいろな食べ物をいただくようになりました。ぶどう、らっきょう、スイカ、長いも、トマトや有精卵から育てた鶏の卵（すごい！）など。スーパーで買う、

冷蔵保存されたものと違い、採れたて新鮮ですごくおいしいです。

また、最近ようやく備蓄していた古米がなくなり、新米のコシヒカリと星空舞を食べましたが、つやつやで炊き立てはびっくりするほどおいしく、卵かけご飯は絶品です！

ちょうど1年くらい前からコロナで窮屈な生活になりましたが、テイクアウトでちょっといいお弁当を注文したり（高いけどおいしい！）、ヒゲダンのデビュー前やこれまでのライブ映像をユーチューブでたくさん見て、今更ですがハマったり、鬼滅の刃を見たり、他にも、普段通りの生活だったらやってなかったかもしれないことが割とありました。

この先コロナが終息したら、ヒゲダンのライブチケットを取ることを楽しみに、感染対策をしつつ過ごそうと思えます。

（元気女子発見隊は、平成29年4月の第467号からスタートし、毎回記事を楽しみにしているという声を頂いていましたが、今回でひとまず終了いたします。記事投稿にご協力頂きました皆様には、厚く御礼申し上げます。なお、4月号からは、新たなシリーズを始める予定です。）



編集後記

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止となりました。ワクチンの接種も2月下旬から順次始まるようですが、新型コロナウイルスが消えるわけでもありません。当面は、今同様に気をつけながら生活することになります。テレワークの手段等ありますが、やはり、直接会員の皆様方を訪問して顔を見ながらお話ししたいと強く思っています。